

リレーフォーライフ（命のリレー）とは？

1985年にアメリカ人外科医ががん患者を励ます目的で始めたチャリティイベントです。チームを作って参加し、リレー形式で24時間トラックを歩き続けながら寄付金を募ります。がんと闘う人の勇気を讃え、患者・家族、一般の人との連帯感を育む場として、地域社会全体のチャリティイベントとして世界に大きく広がっています。がんをもっと知ってもらおうというメッセージを込めて、無理をせず、楽しく歩いていきます。



チームでの参加が基本です。

1チームは10～20人で作り、24時間メンバーの一人がトラック上を歩くことを目指します。チームを作りたいけど難しいという方には、事務局がチーム編成の

お手伝いをします。お好きな時間だけの参加も自由です。自分のペースを守りながら楽しみ、喜びを生み出すことでがんと向き合う大切さを訴えていきます。

歩いている途中で様々なブースを見かけます。がんについてのもの、美容に関するもの、中にはフェイスペインティングのブースもあり、会場を盛り上げてくれます。また仮装しながら歩くチームもあり、それぞれにRFLを満悦しています。



そこには、楽しみながら訴えるという強い意志があるのです。



多くの人のがんという病気に対して恐怖心を持っています。しかし一人一人が手を取り、支えあうことにより今まで見えなかった部分が見えて

くるでしょう。感じなかったことも理解できるようになります。RFLは、がんと闘う人々を支え合います。リレーだけでなく、禁煙等の呼びかけを始め、トークショー、啓発クイズなど様々ながん啓発も行って行きます。